

# CASE 37 駿河精機 株式会社

<http://www.suruga-g.co.jp/ja/suruga/>

所在地：〒424 8566 静岡県静岡市清水区七ツ新屋 549 1

事業内容：精密金型、光関連機器、自動化支援機器

売上高：131.9 億円

資本金：54,100 万円

設立：1964 年

従業員数：520 人

(2005 年現在)

## 企業概要

1964 年設立。経営理念は「天意創造」。世の中の新しいものにチャレンジする。プレス金型用パンチ & ダイ部品では全国トップシェア (40%) を誇る。2005 年には、株式会社ミスミと持株会社「株式会社ミスミグループ本社」のもと、経営統合を行う。

## ポイント

- (1) 研磨業は不足している
- (2) 脱下請
- (3) 社長交代
- (4) 平均受注数量は 2~3 個、取引先は約 3 万社

## まとめ

当社の最大の強みは徹底した創業社長の決断力にある。まず 53 歳の若さで 2 代目社長にバトンタッチしている。多くの創業社長がトップとして居座り続けるケースが多い中で、「社長は若くて、行動力が必要。40 代の就任が理想」と考え、2 代目社長に 46 歳の専務を選んだ。しかもその社長は、中途入社組であり、しかも創業社長とは何の血縁もない親族以外の人間である。

「企業規模が拡大するためには、最適な人材が経営すること」と言い切った創業社長の心意気が、当社には今も受け継がれている。